

会議名	第1回港区立神明子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会
開催日時	令和3年4月8日(木) 午後6時から午後7時まで
開催場所	区役所2階 芝地区総合支所会議室
委員	出席者 5名 阿部委員長、請川委員、宮地委員(以上3名リモート参加)、野澤港区芝地区総合支所長、西川港区子ども家庭課長(書面参加)
事務局	芝地区総合支所管理課長 高嶋、施設運営担当係長 高野、管理係 児玉
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 委員長選出 5 議題の審議 議題1 公募要項について 議題2 第一次及び第二次審査(審査方法、選考基準)について 6 今後のスケジュール 7 閉会
配付資料	資料1 港区立神明子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項(案) 資料3-2 業務基準書等公募に係る関連資料(案) 資料4 第一次・第二次審査の進め方(審査フロー図)(案) 資料5 第一次審査選考基準・採点表(案) 資料6 第二次審査選考基準・採点表(案) 資料7 選考スケジュール(案)  添付資料1 施設パンフレット
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 (芝地区総合支所長あいさつ)  2 委員委嘱 (事務局より委嘱状の送付について説明)

### 3 委員紹介

(全委員自己紹介)

### 4 委員長選出

互選により委員長を選出

選考委員会設置要綱に基づき、芝地区総合支所長を副委員長に選出

### 5 議題の審議

#### 議題1 公募要項について

・事務局より公募要項(案)について説明

委員長

それでは、何かご意見ございますか。

E委員

4ページの提案事業の項目で、「地域の特性を踏まえた効果的な事業を提案してください」という表現がありますが、地域の特性というものは、どこで確認するのか、どこに示されているのですか。

事務局

地域特性に応じたということで芝地区の特性を書いておりますが、基本的には公開されているもの、例えば、今年度が計画初年度となる芝地区版計画書を見ていただくと考えました。しかし、確実に特性を踏まえた提案となるよう、7ページの区が定める指針等の遵守の項目に、港区基本計画、芝地区版計画書と入れるのもよろしいかなと考えてございます。

委員長

委員の皆様、いかがでしょうか。

D委員

むしろ地域の特性は事業者が考えることで、事業者が地域特性をどう理解しているか、ということが我々の採点の対象になると思います。よって、このままでもよろしいのではないかと考えます。

事務局

少し親切すぎるかもしれませんが、区が考える芝地区の特徴を少し示してあげたいと考えてございます。

D委員

指定管理者制度を導入するのはその施設の目的を達成するためということで、ただの下請けではなく民間活力を入れていくことを考えると、区が把握していない地域特性などを民間の方が把握できている可能性もあると思います。提示した特性をそのとおりに出してこられても、あえて民間が運営する意味が薄れると思うので、そこはうまくバランスを取っていただきたいです。

委員長

あくまで基準ではなく、参考程度に入れるということですね。

事務局

ご意見を踏まえ、項番2「子ども中高生プラザの設置目的」に芝地区版計画書について追記します。

全委員

(承諾)

A委員

6ページに区民避難所、津波避難ビルに指定されているとありますが、防災の拠点となっているということですね。

事務局

そのとおりです。避難者が一定期間そこで過ごせるような備蓄を区で用意していません。

B委員

防災の拠点であるという根拠を明示した方がよいと思います。

事務局

それでは、6ページ(2)ケに、港区地域防災計画により区民避難所に指定されているという旨を追記いたします。

A委員	19 ページに「多言語・多文化」という記載がありますが、これは様々な言語・文化を持っている人への対応をしていくという意味合いでしょうか。この表現だと、例えば、言語的な配慮についての提案や、交流についての提案が想定されます。
事務局	「多言語・多文化」の表現は、区の国際化推進担当でも使用されており、様々な文化的背景を持った子どもたちに最大限の配慮をしていくという意味合いです。
D委員	新型コロナウイルス感染症対策に関して、19 ページの様式 20 が該当するかと思いますが、発生時の対応等はここで提案いただくということでしょうか。
事務局	新しい日常を確立されていることを前提に、「感染症対策」という文言に新型コロナウイルス感染症対策を含ませていましたが、委員ご指摘を踏まえて、新型コロナウイルス感染症という文言を入れて修正いたします。
A委員	多くの感染症がありますから、新型コロナウイルス感染症と記載した方がいいかと思えます。
事務局	新たに項目を作って、新型コロナウイルス感染症対策に特化した提案をいただく方がよろしいでしょうか。
A委員	様式 20 に、「新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策」と記載があればよいかと思えます。
事務局	そのように修正いたします。
C委員	様式 21 は、区民避難所が開設される場合にこういった体制を取るか等についても提案を受けるということですか。
事務局	そのとおりです。
C委員	新規参入の事業者ですと、区民避難所開設時にどのように動いたらいいのかということが難しいと思うのですが、どの程度の提案を期待しているのでしょうか。
事務局	区では、防災に関して港区地域防災計画等を策定しており、その中で指定管理者の責務を記載しています。また、災害時協定も公開されていますので、そういったもので確認できるという認識です。
D委員	不登校児に関する記載がないように思われるのですが、区としてはそういった児童が子ども中高生プラザを利用することは想定されていると思いますが、様式 27 の「配慮を必要とする子ども」に含まれているのでしょうか。
事務局	そのとおりですが、ご意見を踏まえて「配慮を必要とする子ども」に不登校児を含めていくつか例示を加入します。また、子ども家庭総合支援センターとの連携という観点でも、不登校児対応への提案を期待しています。
B委員	関連して様式 32 で「子ども家庭総合支援センター」と記載がありますが、「児童相談所」のような法令用語で記載した方が応募事業者は分かりやすいのではないのでしょうか。
事務局	港区子ども家庭総合支援センターは、港区独自の児童相談所機能を持つ施設であり、そことの連携についての考え方や取組について提案を受けられるよう分かりやすく修正します。
委員長	その他ご意見がなければ、ただいまの審議を踏まえ一部修正した上で、港区立神明子ども中高生プラザ指定管理者公募要項を決定したいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。
全委員	(承諾)

・事務局より審査方法と選考基準（案）について説明

委員長

何かご意見ございますか。

A委員

それでは、私からよろしいでしょうか。第二次審査の評価項目に「大型児童センター」という記載がありますが、この施設が大型施設であるという記載はここで初めて出てきます。これは重要な情報ですので、第一次審査でも評価項目に記載した方がよいと思います。

事務局

そのように修正いたします。

A委員

第一次審査5（3）では、「効率性」という言葉が使われていますが、これはどういう意味でしょうか。目標に向かって成果を挙げるという意味の効率性でしょうか。

事務局

この項目は、限られた予算の中で最大限の効果を挙げられるよう提案されているか、という項目ですので、様々な民間事業者のノウハウをこちらで提案していただきます。そういう意味合いの効率性です。

E委員

第一次審査3（2）の「家庭への支援」という記載について、具体的にどのような提案を期待しているのでしょうか。具体的な内容で記載した方がよいのではないかと思います。

事務局

事務局としては、コロナ禍の中で来館を躊躇される子育て家庭へのフォローをどのようにしていくか、という提案を期待しております。たとえば、産後うつへのサポート、孤立を防ぐアプローチなどを具体例として示すのはどうかと考えております。ご意見お願いいたします。

A委員

このままだとそのような提案は期待できないですね。※印で新型コロナウイルス感染症対策というような文言を入れた方がよいと思います。

事務局

修正いたします。また、第一次審査5（2）の情報発信の手段の多様化や工夫にも通じるところと考えております。

A委員

今の事業者は5年間運営されているとのことですが、大型児童センターであり、区民避難所であったりと複雑なことが入っていますが、どういう体制であったからよかったのか、どのような課題があるのかについて、前の事業者の経験を引き継ぐことで、高いクオリティの運営が出来ると思います。

事務局

指定管理施設検証シートにより、毎年度施設運営上の課題等について事業者より報告を受けています。また、第三者評価を実施しておりますので、令和2年度に実施した第三者評価報告書をお示しします。

委員長

その他ご意見はございますでしょうか。なければ、第一次及び第二次審査（審査方法、選考基準）について一部修正の上、決定いたします。

全委員

（承諾）

## 6 今後のスケジュール

・事務局より今後のスケジュールについての説明

E委員

書類提出の受付期間が2日間というのは短いのではないのでしょうか。

事務局

前回は踏襲しましたが、同時期に公募を実施する施設では受付期間が若干長いいため、5月21日金曜日から26日水曜日までという実質4日間に修正いたします。

委員長

ご意見ございますか。無いようでしたら、全体についてご質問等ございますでしょうか。

A委員  
事務局

私から確認ですが、第一次審査で通るのは何者までですか。

第一次審査ではおおむね上位3者程度を通過させます。たとえば3者のうち極端に得点が高い事業者があった場合、3者にするのか2者にするのか等は、第2回選考委員会で委員の皆様にご協議いただければと思います。

7 閉会

(委員長あいさつ)

会 議 名	第2回港区立神明子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年6月16日（水） 午後6時から午後7時30分まで
開 催 場 所	区役所2階 芝地区総合支所会議室
委 員	出席者 5名 阿部委員長、請川委員、宮地委員（以上3名リモート参加）、野澤副委員長、西川委員
公認会計士	坂本 亮氏
事 務 局	芝地区総合支所管理課長 高嶋、施設運営担当係長 高野、管理係 児玉
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 財務状況等分析結果について 3 議題の審議 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 4 今後のスケジュール 5 閉会
配 付 資 料	資料1 財務状況等分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第一次審査（書類審査）採点集計表 資料4 第二次審査選考基準・採点表 資料5 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）の方法について（案）
会議の結果及び主要な発言	
委員長	<p>1 開会 今回の公募につきましては、応募事業者が1者という結果になりましたが、しっかりと応募事業者の適格性について審査していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>2 公認会計士からの財務状況等分析結果報告 【財務状況分析（可・不可評価）】 事業者A：「可」 【資金計画分析（A～E評価）】 事業者A：「A」 以上を報告。</p>

委員長 C委員	<p>それでは本報告についての質疑に入らせていただきます。</p> <p>事業者Aは指定管理料の7%を利益として計上しており、法人全体の売上高経常利益率としては2.6%ぐらいとのことでした。これは業務全体よりも個々の事業に関しての利益の計上率が高いということになりますが、7%というのは特段高いということではないわけですね。</p>
公認会計士	<p>私がこれまで見てきた事業者と比べると、低いというわけではないです。そもそも利益として提案をせず本部経費に利益を混ぜ込む事業者もいるため、一概に高い低いという評価は難しいですが、極めて高いというほどではないと思います。</p>
C委員	<p>収益性の点数が高くないと思いますが、こういう業界で収益性が高いのもどうかと思います。今回の報告では、利益率が高くなると、収益性が上がるということですね。</p>
公認会計士	<p>そのように考えていただいて構いません。評価項目としては、企業が持っている全資産に対してどれぐらい利益を上げているかという総資本経常利益率、売上に対する利益率があります。利益が上がれば上がるほど、収益性が高くなります。業種によって利益率はまちまちなので、あくまで事業者の特徴としてご認識いただければと思います。</p>
A委員	<p>全体的には問題なしということですね。この事業者は純資産が大きいですね。規模が大きい事業者ということですよ。</p>
公認会計士	<p>他の事業者と比較すると、中堅より大きい規模だと思います。</p>
A委員	<p>先生から見て、経営上5年は大丈夫だろうと。</p>
公認会計士	<p>少なくとも現時点においては、そのように見受けております。ただ、我々会計士の業界でも将来を保証するのが難しい時代ですし、不祥事など何が起こるか分かりませんが、今できる分析上では、問題ないと認識しております。</p>
D委員	<p>資金計画分析の人件費の検討で、著しい異常点は見受けられないとのことですが、異常点があったら教えてください。</p>
公認会計士	<p>そこまでおかしいと思った点はありませんでした。著しい異常点と言いますと、給与規定に比べて明らかに人件費が高かったり、人員配置と見積りに記載している人数がかけ離れていたりという場合です。常勤職員の多い少ないは事業者の問題なので、ここでは問題にしていません。</p>
委員長	<p>他になれば、財務状況等分析結果の質疑は終了といたします。 (公認会計士退席)</p>
	<p><b>3 議題の審議</b></p> <p><b>議題1 第一次審査通過事業者の決定について</b></p> <p>・事務局より第一次審査について説明</p>
委員長	<p>それでは、第一次審査について審議いたします。</p> <p>まず、採点の結果について各委員から講評をお願いいたします。</p>
C委員	<p>事業者Aは類似施設の管理実績が多く、先ほどの財務状況等分析でもあったとおり事業規模が大きいので、人員配置での問題はないと評価しました。</p> <p>賃金規定の基本給を見るとあまり高くないのですが、今回の提案ではベテランの方を雇っていて、そんなに悪くないという印象です。施設長、副施設長が土曜</p>

やイベント等の際に出勤するのは安心ですが、休みをちゃんと取れるのか心配です。

苦情対応のシステムやマニュアル、地域の特徴はうまく掴んでいると思います。外国人の利用者が多いことに対して、英語と中国語のおたより作成が良いと感じました。

学童定員が増えるため、今の学童クラブ室とは離れた部屋を活動場所にするということで、スタッフの配置や子どもの動きについてどう考えているのかを二次審査に進めば具体的に伺いたいと思います。また、年代に応じた健全育成ということで、学童利用者とプラザに来館した小学生を分けるとのことでしたが、ここも具体的な運用について聞いてみたいです。学校との情報共有については書類から見えてこなかったもので、どのようにするのかヒアリングしたいと思います。

面白いなと思ったのは、施設に宿泊するというイベントですね。わくわく感、オリジナリティがあると思います。リスクも伴いますが、そこにチャレンジするという姿勢を評価しました。

D委員

全体的に、お任せしても安心という印象です。具体性に欠ける提案もありましたが、マイナスにする要素は感じませんでした。まとまった提案だと思います。人件費に関しては、施設長が 460 万円となっていますが、施設長は管理職ですからもっと高くてもいいかなと思います。

E委員

特徴が強く出ているという印象は受けませんでした。堅実な提案だと感じました。賃金の面では、正規職員の比率が高い割に人件費がそれほど高くないことが気になります。企業規模は大きいですが ISO 等の取得が一切されておらず、障害者雇用率も未達であるところも気になりました。

堅実な提案ですが、実績のアピールが少ないという印象を受けました。

B委員

皆さんもおっしゃっていますが、特段ここが劣っているというようなポイントはなかったように見受けられました。逆にすごく優れているというような目立ったポイントはなく、よく言えば堅実な提案です。ただ個人情報のような、資格を取れそうなところをクリアされていないようなので、会社の方針が気になるところです。概ね任せても安心できるのではないのでしょうか。

A委員

私も総評としてはかなり安定感がある事業者だと感じました。提案からは次世代育成の意識が感じられ、好感を持ちました。「いつでも頼れる身近な存在」という、何気ない言葉ですが、子どもの拠りどころになるという視点が良いですね。施設を利用して終わる関係ではなく、ずっと子どもたちを見ていくという視点を大事にしてほしいと思います。

職員が楽しく働けるという視点も良いと思いましたが、私も給与の面が気になりました。あまり高くないですが、この業界自体賃金が安いです。

現運営事業者の第三者評価のアンケート結果を拝見したところ、子どもの言い争いに職員が入ってくれないという回答がありました。子どもが衝突している場面をよく見ようとしているのか、子どもの言葉に耳を傾けようとしているのかが現事業者の課題だと思います。事業者Aにもこの点はヒアリングしたいと思います。

学童クラブの定員増について、提案書に記載されているくらいの配慮で大丈夫なのか、二次審査で伺いたいと思います。

中高生が自分で食事を作るという事業が良いと思いました。中高生になったら、

委員長	<p>自分で出来るようになる力を育てることは大変大事です。何気ない提案ですが、良い提案だと感じました。</p> <p>各委員からご意見を伺いましたので、これらの意見を受けてご意見・ご質問はありませんか。</p>
D委員	<p>職員に対するメンタルヘルス等のフォロー体制について記述がありませんでした。実際はされていると思いますが、重要な点ですので気になります。また、シルバー人材センター等を活用した提案について、具体性がなく、「促進する」というような記述に留まっているので、積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p>
E委員	<p>私はシルバー人材センターや区内中小事業者の活用について、網羅的に書かれており優れていると評価しました。具体的な内容はヒアリング時に聞きたいと思います。</p>
D委員	<p>この審査において、基準点というものはあるのでしょうか。委員の中でも点差があるところもありますし、今回の点数は、8割に届かない点数ですが。</p>
事務局	<p>各委員の点数のばらつきについては、委員の皆様の考え方、提案のどこに重きを置くかということですので、ある程度のばらつきは結構でございます。基準点ではございませんが、一般的に一次審査の通過は6割以上の得点ということが多くございます。</p>
委員長	<p>「劣る」提案ばかりというような極端な場合は注意する必要があると思います。それぞれの着眼点がございまして、ある程度の点差については着眼点が活かされた結果ということですね。</p>
A委員	<p>先ほどの、シルバー人材センターや障害者授産施設の活用ですが、授産施設のおやつは品質も味も良く、子どもにとっても良いと思います。</p> <p>それから、職員が気持ちを込めて対応しても、なかなか心を開かない子どもがいます。そういう子どもに対して、意見を言いやすいであるとか明確な対応をするという記載が出てこないという点が気になりました。ここはヒアリングで伺いたいと思います。</p>
委員長	<p>各委員のご意見を受けて、点数を修正されたい方はいらっしゃいますか。いらっしゃらないようなので、事務局より点数発表をお願いいたします。</p>
事務局	<p>では事務局よりあらためて、点数を発表いたします。</p> <p>1位：事業者A 757点です。</p>
委員長 全委員 委員長	<p>それでは、第一次審査の点数及び通過事業者を確定してよろしいでしょうか。(承諾)</p> <p>第一次審査通過者を事業者Aに決定いたします。</p>
	<p>議題2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について ・事務局より第二次審査について説明</p>
A委員	<p>参加者は3名程度、施設長予定者を中心として行うということですね。プロジェクトの使用は要らないと思います。設定がうまくいかず使えないということが過去にありましたので、資料は十分にいただいておりますし、その分質疑応答に時間を割きたいですね。</p>
C委員	<p>補足資料があれば紙媒体で、多少持ってきてもらっても良いと思います。コンパクトに説明いただいて、質疑応答という流れで良いのではないのでしょうか。</p>

D委員 事務局	<p>第二次審査をウェブで開催する可能性はないのでしょうか。</p> <p>基本的には参集いただく予定でございます。委員の方々はウェブで参加し、事業者は参集でという方法は可能です。</p> <p>ちなみに、参加者については、施設長予定者のほかに、事業本部の担当者であることが多いです。</p> <p>資料は紙資料ということで、提案書類の中で抜粋してやっていただくという方法もございますけれども、例えばA3程度にコンパクトに強調したい部分を整理して、それを基に当日プレゼンしていただくという方法もございます。</p>
委員長	<p>今までの実績でいうと、参加者は3名程度、プロジェクターを使わなければ、紙媒体の追加資料はA3用紙1枚にまとめてということですね。</p>
D委員	<p>開催方法について、確かに現場で空気感をもって審査するというのも大事だと思いますが、就職面接などもすべてオンラインでやっているところもありますので、委員はウェブ参加でもよいのではないかと思います。</p>
委員長 事務局	<p>人数、ソーシャルディスタンスの問題ですね。</p> <p>会場は広い部屋を用意しておりますので、委員に参集いただいても密にならず、その点は大丈夫です。</p>
D委員	<p>新しい生活様式というのも悪くないと思いますし、事業者が1者ですからオンラインもやりやすいのではないかと思います提案しました。</p>
委員長	<p>オンラインで実施するか、参加人数を3名程度に絞り、ソーシャルディスタンスを確保して短時間で参集して実施するかという2つの選択肢がありますね。</p>
E委員	<p>ウェブ開催はおそらく今までないことなので、有効性を確認するという意味で非常に興味深いです。1者であればやりやすいとも思いますが、円滑な進行に一抹の不安があるようならば参集で良いと思った次第です。</p>
委員長	<p>施設長予定者の人柄は大事ですよ。実際にお会いした方がよく見える部分があると思います。感染症の状況を踏まえ、基本は対面で、感染が急激に拡大しているような状況であれば再考するという方向で、いかがでしょうか。</p>
全委員	<p>(承諾)</p>
A委員	<p>参加者は3名程度ですが、大型児童センターですし、施設長の代わりになるサブの方も入れていただきたいと思いますが、主任クラスの方も参加いただく必要はどうでしょう。</p>
事務局	<p>こういう方が必要だということがあれば、3名に限らず、参加者数をご決定いただければと思います。</p>
A委員	<p>提案内容を見ると本部のサポートが大きいので、本部の方にもお話を伺う必要があると思います。多く来ていただく必要はないですが、実際子どもに接する職員にも話を聞きたいですね。</p>
C委員	<p>私は施設長だけで良いとも思いますが、学童の定員が増えるので、学童の責任者がいればその方にお話を聞いてみたいです。</p>
委員長	<p>それでは、施設長予定者、本部担当者、学童クラブの責任者予定者を参加者とするということでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(承諾)</p>
委員長	<p>追加要望資料はございますか。事業者が追加で出したいというものがあれば、それを受け入れるということよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(承諾)</p>

委員長	事業者の持ち時間はいかがでしょうか。準備5分、プレゼンテーション15分、ヒアリング15分。
事務局	ヒアリングの時間については目途ですので、伸びても短くても結構です。プレゼンテーションは15分に収めるよう事業者に伝えます。
委員長	では、このような時間設定でよろしいでしょうか。
全委員	(承諾)
委員長	二次審査の選考基準については、修正ございますか。こちらで決定してよろしいでしょうか。
全委員	(承諾)
	4 今後のスケジュール ・事務局より今後のスケジュールについて説明
	5 閉会 (委員長あいさつ)

会 議 名	第3回港区立神明子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和3年6月29日（火） 午後6時から午後7時30分まで
開 催 場 所	区役所9階 915会議室
委 員	出席者 5名 阿部委員長、野澤副委員長、請川委員、宮地委員、西川委員
事 務 局	芝地区総合支所管理課長 高嶋、施設運営担当係長 高野、管理係 児玉
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題の審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について 議題2 指定管理者候補者の選考結果について 3 閉会
配 付 資 料	資料1 第3回選考委員会タイムスケジュール 資料2 第二次審査選考基準・採点表（事業者A） 資料3 第二次審査評価用メモ（事業者A） 資料4 第二次審査集計表（※採点終了後、机上配布） 資料5 第2回選考委員会議事録 参考資料1 第一次審査採点集計表 参考資料2 第一次審査コメント一覧
会議の結果及び主要な発言	
委員長 C委員 事業者A	<p>1 開会 ・事務局より本日のスケジュールについて説明</p> <p>2 議題の審議 議題1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）について  （事業者Aによるプレゼンテーション実施）</p> <p>それではヒアリングに入らせていただきます。 学童クラブ定員が50名増えることを受けて、2部屋に分けて使用するという提案がありました。分け方は具体的にイメージされていますか。</p> <p>低学年と高学年とで登室する時間帯が異なりますので、衛生面から少なくともおやつを提供する部屋は固定いたします。その時間帯は、もう1部屋は学習や工</p>

	<p>作等の日常の遊びをする部屋として、食べるお部屋と遊ぶお部屋という形で空間を分けることを想定しています。</p>
C委員	<p>受付は1箇所というお話でしたが、受付した後におやつ以外の時間は学年ごとで部屋を分けるということですか。</p>
事業者A	<p>低学年が入室する時間が早いので、先に低学年、その後高学年におやつを提供して、それ以降は学年関係なく自由遊びという形をイメージしております。</p>
D委員	<p>学童クラブ定員が50名増えることへの不安はありますか。建物の広さは変わらない中で、50名増えることは影響が大きいと思いますが。</p>
事業者A	<p>正直申し上げて、入口の混み具合やロッカーの場所など、いくつか気を付けなければならないことがあります。しかし、あえてクラス分けをせず、1年生から6年生まで一緒に過ごせるところに学童クラブの意義、重要性があると思います。最初は試行錯誤するかもしれませんが、与えられた環境でどのように過ごすかは、子ども会議のような場を設けて、子どもたちと一緒に考えたいと思います。それを踏まえて工作室等のお部屋を活用し、子どもたちがいろんな部屋に行けるような流動的な活動をしていけば、もっと狭く、また学童の多い施設の経験もございませので、50名増への対応も十分可能と考えております。</p>
D委員	<p>職員に対するメンタルヘルスへのフォロー体制はどうなっていますか。</p>
事業者A	<p>入社1年目の職員や新任責任者に対して、他施設の先輩職員が相談役となり悩みを聞いたりアドバイスをしたりする「メンター制度」を実施しています。このほか、3か月に1回、全職員に対して心身の状況についてアンケートを実施し、その結果を指標化しています。不調が見られた職員に対しては施設長だけでなく、本部が面談を実施し、丁寧にフォローしています。また、職員の健康の維持への配慮から、1年に1回、全職員に対してストレスチェックを実施しています。</p>
E委員	<p>ここ1年半ほど新型コロナウイルス感染症の影響が出ている中で、新しい生活様式に合わせた「青空ヨガ」のようなイベントの提案がありますが、この影響はこれから1年、2年と続いていくと考えられます。これからもどんどん工夫していく必要があると思いますが、他に考えられていることがあれば教えてください。</p>
事業者A	<p>私が現在施設長を務めている施設では、2時間ごとにおもちゃの消毒や換気の時間を30分取るという形でイベントを実施しております。また、Zoomを使い施設に来られない方向けの乳幼児リトミックの講座を実施しています。小学生向けにZoomを使うような事業はなかなかできませんが、乳幼児の利用者は育児が大変な時期に少しでも交流が持てるよう、コロナ禍だからできないというのではなく、模索しながらイベントを行っていきます。</p>
B委員	<p>小学校と神明子ども中高生プラザは少し離れていると思いますが、子どもたちが学童クラブまで来る、あるいは学童クラブから帰る際の安全対策は、どのようにお考えですか。</p>
事業者A	<p>芝地区では青色防犯パトロールの方に夕方や児童の下校時刻に巡回していただいています。そういった仕組みや地域の方と連携して、小学校とも月1回程度、連絡会という形で事故の多い場所や下校時の子どもたちの様子を共有したいと考えております。</p> <p>また、神明子ども中高生プラザは建物の上の階にありますので、下の階まで必ず職員が下りて、子どもたちがそれぞれの方向にまっすぐ帰るように見送りたいと思います。スクールサポーターの方とは密にお話をさせていただきまして、学</p>

B委員	<p>校で起こったことだけでなく、施設でのことも共有しながら子どもたちの安全を考えていくつもりです。</p> <p>提案書を読ませていただくと、どうしてもお母さん寄りの提案になっているように見えますが、お父さんの家庭での役割も重要だと思います。</p> <p>子どもとお父さんの関係をどう捉えていくかというアイデアがあれば教えていただきたいです。</p>
事業者A	<p>私が運営している施設では、日曜日にお父様といらっしゃるご家庭があります。そこで、「家族ヨガ」のように「家族〇〇」という、どなたが来てもいいようなネーミングにしています。「ママと〇〇」というようなイベントが多くなってしまいがちですが、ネーミングを変えただけでも参加しやすいと思います。また、あえてお父様と一緒にできるようなことを提案したいと考えております。乳幼児の時に利用していただくと、小学生になってもお迎えにお父様が来ていただきやすくなります。お父様が来た際にはなるべく声をかけ、来ていただけるようにしております。</p>
A委員	<p>現事業者の第三者評価のアンケートの中で、「自分の気持ちをよく聞いてもらえているか」というような質問項目があり、「聞いてもらえていない」と答えたお子さんがいらっしゃいました。子どもが自分の気持ちをしっかり伝えるためには、話を聞いてもらう経験がとても大事だと思います。このような課題に対してどうお考えですか。</p>
事業者A	<p>なかなか話さない子どもや本を読んでばかりというような子どもには、職員から一言でも声をかけるよう、ミーティング等で話しております。</p>
A委員	<p>職員の方でも「あの時に聞いてあげればよかった」というような思いがあるとありますが、そういう話はなさっているんですか。</p>
事業者A	<p>朝と夜にミーティングを行っていますが、そこまでの話は出来ていません。どうしても問題行動がある子どもに意識が行きがちなので、手のかからないように見える子どもたちにもしっかり向き合う努力をしていかなければならないと思っております。</p>
A委員	<p>中高生向けの軽食づくりという提案がとても良いと思いましたが、子どもが自分のためではなく、家族のためにご飯を作るという視点はありますか。</p>
事業者A	<p>おっしゃる通りです。中学校に進学した子どもが進学先でうまくいかず、つまずき、家族との間にも歪みができているという中で、ご飯を一人で食べているということもありました。神明子ども中高生プラザでご飯を作って、家庭でもそれにトライして、それが会話のきっかけになるのではないかと願っています。</p> <p>今までも中高生からはおやつが欲しいという声があったので、ぜひ挑戦してみたいと考えております。</p>
A委員	<p>単に食事の問題ではなく、人の役に立って感謝されること、喜んでもらえることが大切だと思います。</p>
C委員 事業者A	<p>学校との連携、特に小学校との連携・情報共有はどのように行う予定ですか。</p> <p>利用者が一番多く在籍している小学校とは、月1回の連絡会を実施します。また、運動会や子どもたちの作品展に職員が伺ったり、特別支援学校の先生方に来ていただいたり、学校での様子、施設での様子を共有するような機会を設けます。</p>
C委員	<p>提案の中で、土曜日イベントやシフトの状況により施設長・副施設長が出勤するとありました。ローテーション表を見ると毎日出勤しているように見えます</p>

事業者A	<p>が、勤務体制はどうなっているのですか。</p> <p>土曜日・日曜日に出勤する場合は翌週の平日に代休を取得し、週休2日を確保しています。その際は、平日に施設長・副施設長両方が不在とならないようなシフトで配置をしています。</p>
D委員	<p>子ども会議の提案が素晴らしいと思いました。他の施設ですと、高校生がボランティアで関わったり、中高生の委員会のようなものがありますが、そのような取り組みは予定されていますか。また、中高生の利用はそんなに多くないと思うのですが、利用が増えるような周知等はどうされますか。</p>
事業者A	<p>高校生の利用が一番少ないですが、高校の行事に出向いたり、おたよりの配布をさせていただきたいと思います。また、中高生が音楽バンドを小学生に教えたいと、ボランティアとして来てくれることがあります。小学生から施設を利用していた子どもが中高生になって、バスケットボールやローラースケートの指導をボランティアでやっていただくなど、人数的には多くないでしょうが、そういう中高生が1人2人と増えていって、もっともっと広がっていくことを続けていきたいと思います。</p>
E委員 事業者A	<p>ISO等の取得をされていないようですが、今後取得の予定はありますか。</p> <p>ISO9000s やプライバシーマーク等の取得はしていませんが、保育・育成に関する業務マニュアルの制定や、年間100種類を超える研修の実施などにより、品質管理を実践しています。また、個人情報保護に関しては、施設において内部監査室による監査を行い、規定の順守を確認しております。取得に関しては、今後検討してまいります。</p>
E委員	<p>シルバー人材センターや区内中小事業者の活用について提案がありましたが、具体的にどのように活用していくか教えてください。</p>
事業者A	<p>シルバー人材センターには、学童クラブ登録児童の来館・退館サポートをお願いすることを考えております。来館時は交差点等のポイントに立っていただき、退館時にもポイントまでの見送りをさせていただく予定です。また、区内中小事業者にはイベントへの出店を依頼したいと考えております。単に商品を提供していただくだけではなく、体験型のワークショップを企画し、より深く施設と事業者が連携できるよう工夫します。</p>
A委員	<p>提案の中で英語と中国語のおたよりを作成するとありましたが、今運営されている施設では、外国籍の方はいらっしゃいますか。</p>
事業者A	<p>あまり在籍はありませんが、英語版のおたよりは出しています。</p>
A委員	<p>大型児童センターの運営、それから学童クラブ定員増という新しい問題がある中で、これは克服したいという課題はありますか。</p>
事業者A	<p>大型施設の運営では、職員一人ひとりの力量が最も影響すると思います。</p> <p>どこの部屋にいても安心して職員に任せられるということが、一番重要と考えています。職員がプロとしてきちんと仕事ができれば、子どもたちも安心して利用できます。大型だから、人数が多いからということを経由にせず、職員が子どもたちと向き合って育成をすることで、ここに来られてよかったなと思っていただきたいです。そしていつかは子どもを連れて遊びに来てもらえるという関係を地域の中に作れるのは、乳幼児から中高生まで集える大型施設だからこそだと思います。</p>
委員長	<p>以上で、プレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。</p>

事業者の方は、ご退席ください。

(事業者A退席)

(採点・休憩)

## 議題2 指定管理者候補者の選考結果について

・事務局より採点集計結果について報告

### 【事業者A】

第一次審査 757点 第二次審査 402点 合計点 1,159点

委員長

それでは審議に入ります。この点数を受けまして、各委員の皆様から講評をお願いします。

C委員

第一次審査ではバランスの取れた提案という印象を受けましたし、ヒアリングでは施設運営を具体的にイメージしていることが感じられ、良いと思いました。学童クラブ定員が50名増えるため2部屋で運営されるとのことでしたが、子どもたちが全く分かれるということではなく、子どもたちの交流を考えながら過ごし方を自由に選べるよう工夫するところが安心して任せられると感じました。

D委員

実際は小学生の対応で大変なのではないかと思いますが、中高生が小学生をサポートするなど、中高生自身が様々な提案ができるよう支援していくというところが、「子ども中高生プラザ」という施設名称にふさわしい提案であると思いました。

E委員

第一次審査では堅実な記述が多く、新型コロナウイルス感染症対策についても新しい生活様式に対応した提案がありました。さらに何かあるかという質問に対しても、何とか答えられたというところは良かったと思います。

定員増に関する部分は、考え方の整理がされていまして、ああいう形で対応いただけるのであれば良いと思います。地域との連携、小学校等との情報交換を行うということも重視し、点数を高くつけました。大規模施設の運営に対して、建物管理という意識が薄いという印象を受けましたが、全体としては評価できる内容だったと思います。

B委員

大きな企業で経営は安定しているようですし、ヒアリングで発言された施設長候補者などの対応も非常に安定していて、安心して任せられるという印象でした。ただ目新しい提案はなく、ウィズコロナからポストコロナになっていく中で、もう一工夫あればと期待するところです。提案資料ではICTを盛り込んだ提案が随所にありましたが、ヒアリングで伺ったところ Zoomでのコミュニケーションが手一杯のようですので、SNS等の実践はこれからなのだろうと思いました。

地域との関係については、ただ仲良くするというだけでなく、スクールサポーターとの連携などが挙げられていたので、安定感を感じました。

A委員

全体として、考え方が非常に良いと感じました。ヒアリングの中では施設長候補者の抱負を聞くところまで至りませんでしたでしたが、誠実で課題をきちんと受け止める方であると感じられ、そこを評価しました。

事業者Aの考え方の良いところは、この施設を拠点として繋がっていくという、

	<p>拠点づくりの意識があるところです。この姿勢を貫いていくには、本部のバックアップがされて、組織的に動けるような体制が出来ていると良いと思うのですが、今の段階でここまで出来ている事業者はそう多くないと思いますので、高めの評価をしています。</p>
委員長	<p>ここまでで、評価を変えられる方は居ませんか。</p>
事務局	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数及び順位を発表します。</p>
委員長	<p>1位 事業者A 合計点数 1,159点</p>
全委員	<p>よって、港区立神明子ども中高生プラザの指定管理者候補者は1位の事業者Aでよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>(承諾)</p>
委員長	<p>それでは、当委員会は、港区立神明子ども中高生プラザ指定管理者候補者として、事業者Aを選定いたします。</p>
委員長	<p>5 閉会</p>
委員長	<p>以上をもちまして、港区立神明子ども中高生プラザ指定管理者候補者選考委員会を終了いたします。</p>